

花園兼定 （たかのり） 洋學史家。明治十九年二月十一日東京生れ。昭和十

九年十一月二日歿（一八六一一九四）。筆名花園縁入。明治四十二年早稲

田大學文學部英文科卒。英字紙記者を経て、大正八年東京日日新聞社

入社、ニューヨーク特派員、「英字毎日」編輯など。昭和二年早稲田

高等學院兼早大高等師範部講師。

譯著書、『ツールゲニエノ作ヲ女獲』（譯、大正二年六月、二十一日東京

堂書房）、『（英和）對譯・註タゴールの詩と文』（花園縁人名、大正四年五

月二十一日 （ジャパン）タイムズ 學生號出版所）、『THE DEVELOPMENT OF JAPAN -

SE JOURNALISM』（大正十二年十一月十五日 （大阪毎日新聞社）、コヤマ

シヤの路其他』（譯註、昭和七年一月二十日春陽堂「英米近代文學叢

書」）、『ソノカデオハーン著コハーン短篇傑作集』（譯註、昭和八年

一月二十日外國語研究社「英和譯註叢書」）、『異人の言葉』（昭和

九年八月二十五日四條書房）、『ヂヤツク・ロンドン作ヲ野性の呼聲』

（譯、昭和十一年七月十七日改造社「改造文庫」）、『ヂヤツク・ロン

ドン作ヲ野性の呼聲』（譯註、昭和十一年二月二十一日外國語研究社

『（英和）譯註叢書』（）、『ピットラー著 （英和）對譯まひん・かむぶ』（小宮山

凡耀共譯、昭和十四年四月十日ヘルバド雜誌社）、『隨筆ヲ洋學と白花』

（昭和十四年十一月二十日ヘルバド雜誌社）、『南進論の先驅者會澤

貞風』（昭和十七年二月二十八日日本放送出版協會「ラジオ新書」）

等。